

人文研紀要

第69号～第70号(2010年)

◆第69号—2010年(2010年9月発行 A5版220頁)

周作人と柳田国男 —それぞれの民俗学—	子安 加余子
民国初期の北京における日本人京劇通 —波多野乾—を中心として—	波多野 眞矢
学習意欲を高めるためのテキストを考える —学生の視点から見たスペイン語テキストの問題点と工夫—	浦 眞佐子
空前置詞と語順	穂苅 友洋
Perzeption der prosodischen Varianten am Ende von japanischen Äußerungen: Dargestellt anhand einer in Deutschland vorgenommenen Untersuchung unter Japanischlernenden	Akiko HAYASHI Yukihiro NISHIMURA Hiroko YABE
The Relationship between Pitch Excursion and Impoliteness: A Preliminary Study	Yasuo NAKAJIMA
Die Sagen um Kaiser Maximilian I. —Nachträge zu „Robert Musil und Bozen“—	Nanao HAYASAKA
ユダヤ人を救った人々(3) —警察署長ヴィルヘルム・クリュツフェルト—	平山 令二
ホロコーストから遠く離れて —最近のドイツ映画2作における方法論としての寡黙と饒舌—	飯塚 公夫
ソール・ベローとホロコースト	伏谷 幸子

◆第70号—2010年(2010年9月発行 A5版239頁)

坪内逍遙と本間久雄 —出会いから昭和2年まで—	平田 耀子
アメリカ日系人社会の言語への取り組み —サンフランシスコ金門学園を事例として—	村上 和賀子
意見と顔の多様性 —モンテニユ『エッセー』初版の最終章における自己表現—	宮川 慎也
グリムのメルヒェン「マリアの子」 —その人間性と宗教性—	戸口 日出夫
詩人エイブラハム・カウリー瞥見	森松 健介
Verb Tenses and Modes in George Herbert's—"The Crosse", "Affliction(I)", "The Collar", and "The Holdfast"	Jiang LI
自伝的な, あまりにも自伝的な(最終章) —トマス・ウルフの遺作を中心に—	岡本 正明
男同士の絆とアナクロニズム —フォード・マドックス・フォードの <i>The Good Soldier</i> について—	丹治 竜郎
『活火山の下』誕生の物語 —楽園編—	野呂 正
『海よ, 海』を論じる	深澤 俊